



2016年11月号 (No.422)

医療生協

宮崎医療生活協同組合 7880-0824 宮崎大島町天神前1175-3 発行 機関紙編集委員会



宮崎生協病院 (0985)24-6877 FAX 29-4839 和知川原生協クリニック (0985)23-0050 FAX 23-0303

県北地区・都北地区でも組合員のつどいを開催

9月28日(水)都城老人いこいの家(都城)で開催した都北地区組合員のつどいは、都北支部運営委員の田中和子さんの司会ではじまりました。

都北地区組合員のつどい 歌や踊りで盛んな都北地区組合員のつどい

県内3つの地区で組合員のつどいを開催し、秋の医療生協強化月間の取り組みをはじめ、学習会や交流で組合員さんの絆を深めました。



冒頭に水永玲子理事による「笑いヨガ」の指導で集いが一気にか

秋の強化月間を 「住みよ地域へ」に呼びかけよう!

《宮崎生協病院設立40周年文化企画》 劇団前進座 『怒る富士』公演

怒る富士

体温計

クイズの答えはEメールでも受け付けております→ 「おげんきですか」へのご意見・感想をお寄せください。 Eメール:mcoop1030@ray.ocn.ne.jp

「応募方法」 「送り先」 「10月号の答え」 「10月号当選者」

11月の診療案内 遠藤・高田・中島徹(循環器内科)、古谷(消化器内科)、高橋聡・永友(呼吸器内科)、植野(糖尿病内科)、浜田・高橋麻里子(内科・リハビリ)、関根・眞川(内科)、山岡・末岡(外科・肛門外科)、山元・上野・愛甲・久保(小児科)、坂口(後期研修医)、松尾・木脇・堀・大野・谷口(初期研修医)

Table with columns for Hospital (宮崎生協病院), Clinic (このはな生協クリニック), and another Clinic (生協クリニックのべおか) showing schedules and staff.

●土曜日夜間の内科・小児科外来は休診です。

和知川原生協クリニック 宮崎市和知川原2丁目25-1 ☎0985(23)0050

このはな生協クリニック 宮崎市大字熊野1613 ☎0985(58)1222

生協クリニックのべおか 延岡市浜砂1丁目5-17 ☎0982(26)7100

在宅総合ステーション れいんぼう (宮崎市和知川原2丁目25-1) 在宅総合ステーション それいゆ (延岡市浜砂1丁目5番6号)

宮崎生協病院の紹介 今回は『中央材料室』です



●質問
『中央材料室』って聞きなれない部署ですが、何をしている所ですか？

●答え
中央材料室は、医療物品の請求・納品・払い出し等の業務、手術や病棟で使用する物品の洗浄・消毒・滅菌や、手術器械・器具のメンテナンスなどを担当するところです。院内で使用する物品を確実に、安全に供給すると言う大変重要な役目を果たしています。一般の方からは、目の届かない部署ですが、例えば美味しいパンやピザを作り、提供し、後片付けまでを一括して担っている工房みたいなものですかね。逆に分かりにくい表現になったかも知れませんがね。(*^-^*) 参考までに、中央材料室は、省略して“チューザイ(中材)”と呼ばれることが一般的です。“チューボー(厨房)”と似ていませんか。(*^-^*)

◎仕事を通しての思い出は
中材では、美味しいパンやピザを作る(手術などで使用した器材を安全に使用できるようにする)のために、大きな窯と熱(写真:高圧蒸気滅菌装置)を使います。仕事に対する熱い思いは勿論のことですが、業務に慣れるまでには違った熱い思いもすることがあります。(*^-^*)

◎最後に
滅菌・洗浄業務に必要な知識の習得と質の向上に関する教育・研修など、全国各地で、勉強会や研修が行われています。宮崎でも行われる際は、スタッフが参加し、up-to-date(最新式)しています。(中材職員)



2016年10月度 理事会の報告

<審議・決定事項>

- ①9月の組合員増やしは43名(目標102名)と、出資金増資は55.9万円(目標218.5万円)と、いずれも目標を下回りました(9月度は9月19日で締めています)。秋の医療生協強化月間が開始になったことをうけ、各地区で開催された「組合員のつどい」(9/13宮崎131名、9/15県北73名、9/28都北53名)、キックオフ集会の報告を受けました。秋の医療生協強化月間のプレ月間(9/20～10/3)で仲間増やしは205名あり(目標200名)目標を達成しました。また各支部からの取り組みの報告を受けました。
- ②平和と社会保障を守る取り組みでは、「改憲論議、TPPの国会審議」「沖縄県高江ヘリパッド工事」「75歳以上の後期高齢者の保険料段階引き上げ」「ワーキングプア3年連続1000万人超」などについて報告がありました。仁田協弘文理事より「食と農とTPP問題を考える宮崎県民の会(仮称)について」の報告と「宮崎の地域医療を考えるつどい」「共依存という観点から働き方を考える学習会」「川内原発を2度動かさないさよなら原発集会」について案内と説明がありました。また、「子どもの医療費無料化」についての宮崎市議会の審議状況についての報告もありました。
- ③8月度の経営概況について報告がありました。8月の法人の経常利益は2,100.9万円の黒字、累計で1,489.2万円の黒字でした。
- ④宮崎生協病院の現金監査、和知川原生協クリニックの現金監査、生協クリニックのべおか業務監査、訪問看護ステーションそれいゆ、居宅介護支援事業所それいゆ、ホームヘルプサービスそれいゆの業務監査の報告を受けました。
- ⑤「生協クリニックのべおか秋の健康祭り」へ援助について、「生協クリニックのべおか」秋の健康まつり実行委員会からの本部への財政援助のお願い(上限85,000円)の提案がありました。

<報告・承認事項>

- ①9月度事業所活動について報告・承認しました。
- ②9月度第6回医療安全管理委員会について報告・承認しました。
- ③9月度宮崎生協病院利用委員会について報告・承認しました。
- ④第8期第3回県連学習教育委員会について報告・承認しました。
- ⑤9月度第6回県連介護事業所責任者会議について報告・承認をしました。
- ⑥9月度経営協議会について報告・承認しました。
- ⑦第27期5,6回常勤理事会について報告・承認しました。
- ⑧宮崎県民医連第8期第5回理事会について報告・承認しました。
- ⑨宮崎県社協第6回幹事会について承認しました。
- ⑩人事について報告・承認しました。
- ⑪このはな生協クリニックの小児科標榜の取り下げについて報告・承認しました。
- ⑫宮崎生協病院の病床再編計画について報告がありました。

今、宮崎医療生協は		2016年9月末現在	
■ 新規加入者	161名(9/1~9/30)	■ 総組合員数	49,383名
■ 出資金	5億6,018万円	■ 平均出資金	11,344円
■ 班数	331班	■ おげんきですか手配り配布数	19,481部

おげんき仲間 ～配布協力員紹介～

竹下ミチ子さんは住まいのある青島はもちろんのこと宮崎県を代表するような「明るさ輝き知性」をそなえた魅力的な方で、地元では高齢の方々へのさり気ない援助をはじめ、パークゴルフやグラウンドゴルフなど多くの交流の場で活躍されています。このはな支部のパークゴルフ班では毎回ご友人達を誘ってくださり、デイサービスの催しでは「ニコニコできばき」と料理をされ、バスハイクや新年会では見事な歌声と知識豊かな話題でみなさんを楽しませてくれます。青島の再生に竹下さんあり! (秘密かな) 新婚旅行ブーム全盛期の宮交バスガイドさんでした。これからもよろしくお願いします。(このはな支部)

《お問い合わせ》 組織部 0985-31-9055

おげんきですか文芸欄

・晴れ女自慢の旅も野分かな
・敬老会宴に手話の童謡歌
・句作りや卒寿の秋の走馬燈

田代久子さん(宮崎市大淀)

みんなの声

・「おげんきですか」は時々拝読しております。何よりいいのは文字が大きくて読みやすいことです。また各地区の取り組みやイベントなど画像入りで紹介されており、親しみやすい紙面構成だと思います。(宮崎市Oさん女性)

・夏休み中の子どもたちが「めだかの学校」で、体のことや大好きなジュースの怖さを知る健康を守る取り組みは、素晴らしいと思いました。(宮崎市Gさん女性)

虹の声 宮崎生協病院虹の意見箱
10月度宮崎生協病院利用委員会

○8月受診して採血をした。「他院も受診しているので検査結果のみ早くもらえないか」というと「出来ない」と言われた。データだけ受け取ることが出来ないのは不便です。

◎検査の結果については、個人情報の保護、患者様に及ぼす影響等も考慮して医師から説明させて頂いております。ご不便をおかけしますが、ご了承をお願いします。



健康づくりの一つとして宮崎医療生協は、毎年春・秋に健康ウォーキングに取り組んでいます。平和台公園自然散策路をコースに10月15日(土) 秋空の下、ウォーキングが楽しみました。平和台公園第2駐車場に80名の組合員さんが集まり、福田須満子健康づくり委員のストレスチ体操の後、起伏(山間)コースと脚力(平地)コースに分かれてスタート。緑の木立の中を心地よい汗をかきながらウォーキングを楽しみました。組合員さんから「アツプダウンのコースを無理なく歩いて、久しぶりに運動した」「どんぐりや椎の実を見て秋を感じた」「久しぶりに仲間と会って心地よい汗をかいた」などの声をいただきました。またウォーキングの前後で希望者には血圧を測定し、ウォーキングの効果を実感した組合員さんもありました。(組織部)

保健学校で料理教室を開催

栄養のバランスは主食・主菜・副菜で

小松支部は保健学校の一環として料理実習を9月27日(火)に宮崎市小松台ハイランド集会所で行いました。「バランスのとれた食事」と題して、宮崎市食生活改善推進協議会のヘルスマイト3人を講師に、主食・主菜・副菜を入れての5品づくりを行いました。いざ調理に取りかかると14名の参加者は主婦歴の長いベテラン揃い、メニューの作り方をしながら手際よくあつという間に作りました。試食後、ヘルスマイトの小澤千春さんによる「栄養のバランスは主食・主菜・副菜で」の講話では「宮崎県は野菜生産県でありながら摂取量が全国的に下位で、改めて野菜をたくさん食べて欲しい」と熱望されました。また各家庭から持ちよった味噌汁の塩分濃度を測定し、全員6g/l以下、合格点で一安心しました。(小松支部 中保真美子)



秋の医療生協強化月間に向けて 組合員さんと職員でキックオフ集会

月間中に5万人目の組合員さんを迎えよう



10・11月は医療生協を大きくする「秋の医療生協強化月間」です。月間スタート前の9月20日、宮崎生協病院では組合員さんと職員が一同に集まりキックオフ集会を行いました。月間推進委員の堀竜太研修医が「月間目標の達成に向けて、みんなで頑張りましょう」とあいさつ、組合員を代表して長友征子理事が、また看護部門や健康診断課から月間中での取り組みや意気込みなどの発言がありました。今年には宮崎生協病院設立40周年、節目の年にあと約490名で5万人目の組合員さんを迎えます。(組織部)

「家庭のみそ汁はどれくらい?」

心筋梗塞や脳卒中などの心血管疾患の危険性を減らす取り組みとして、WHOでは毎年9月29日を世界ハートの日と定め、心臓病予防の啓発を行っています。宮崎医療生協では「減塩は命を救う」取り組みとして9月26日、コープみやざき花ヶ島店のご協力をいただき、ご家庭のみそ汁はどれくらい?をテーマに、40名の買い物客のみなさんに薄味(5g/l)・普通(8g/l)・濃味(15g/l)のみそ汁を試飲していただきました。結果はシール投票(写真)の通り。試飲された方から「我家のみそ汁は濃い」と思っていたが、薄味のみそ汁はほとんど変りなかったと安心した、「高血圧と糖尿病で通院中。減塩に注意しているが、試飲の薄味より薄かったので良かった」との声が寄せられ、減塩には気をつけている様子を伺うことができました。組合員のみなさん、生活習慣病予防のため減塩と食生活の改善に取り組みしましょう。(組織部)



大塚・江南支部「サロン101」 9月14日オープン

医療生協は「健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる」ことを目標に、医療・介護、地域での健康づくり、誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりのために活動しています。少子高齢化社会を迎える中で、安倍政権は、医療・介護など福祉予算全体を削減して、要介護1・2の対象者を介護保険から外し、弱者を切り捨てる政策を強行しています。そして、自助努力や家族介護などへの比重を増やし、民間の事業者任せにする政策(総合事業)をすすめ、政府の政策を受けて、地方行政は今、「地域包括ケアシステム」を構築するための模索が始まっています。

大塚・江南支部では、「地域包括ケア」(地域でのお世話、お手伝い、支えあい、見守りなど)は本来、私たちの担うべき活動ではないだろうか。と議論を重ね、プロジェクトチームを立ち上げ、支部が「行政の下請け」の役割でなく、「何ができるのか」「どうすればいいのか」「何から始めるのか」など、率直に意見を交換し、「何から始めるための検討をしてみました。幸い、大塚町田淵ヶ原でマンション経営をされている方の「101号室」を使用してもいいよ」というご厚意で今回「サロン101」のオープンとなりました。

当面は、月1回、第2水曜日の午後1時から健康チェックをメインに参加者の要望に沿って、食事会やレクリエーションなどの楽しい企画を計画していきます。9月14日の開所式には、スタッフを含めて10名が集まりオープンを祝いました。(大塚・江南支部長 村尻勝信)

